



# ベストティーチャーに聴く 授業の工夫⑩

鹿児島大学 FD 委員会

【発行/2023年11月】

総合教育機構共通教育センター 社会人基礎力演習教員チーム

教授 大前 慶和



准教授 藤村 一郎



## 社会人基礎力演習の位置付け

かごしまキャリア教育プログラムは、地域人材育成プラットフォーム上で走る教育プログラムの1つです。社会人基礎力演習は、同プログラムの基礎・実践のうち基礎に位置付けられています。受講生の潜在能力、特にコラボレーション能力を引き出そうと努力しています。

社会人基礎力演習には、複数の共同担当教員がおられます。今回は、共同担当教員にお願いし、「自分の授業でも使っている、あるいは使えるなと思う社会人基礎力演習の工夫」を挙げてもらい、解説するスタイルとします。

## 工夫1 手書き用ワークシートの活用

ワークシートは自己開発しています。受講生に取り組んでほしい思考の手順をフロー図化すれば、それがワークシートになります。左脳的な無機質感は避け、右脳的にシートを作りたいと思っ

てはありますが、決して見栄えのするシートを用意しているわけではありません。プロジェクト運営の場合は、手書き用の TODO リストを用意するようにしています。

## 工夫2 グループワークの全体像を示し、細かくステップを提示する

この手法は、法文学部の酒井佑輔先生から基本を学び、同様のスタイルを実践されている社会教育・学校教育事例からもヒントを得ています。

グループワークを指示する際、「20分でグループの意見をまとめてください」とは言いません。いくつかのポイントを押さえながら、細かくワークをデザインするのです。

押さえるべきポイントは、おおよそ以下の通りです。

- 個人で準備する時間を用意し、次にグループで作業を進める。
- 1ステップ1タスクとなるようにデザインする。
- 各ステップに、短時間の作業時間を割り当てる。

例えば、こんな感じです。

- ①個人で、考えられる理由を全て書き出します。(3分)
- ②書き出した理由をまとめ、チームメンバーに説明する準備をします。(1分)
- ③各人1分で、自身の考えた理由を他メンバーに説明します。(各1分)
- ④共有した情報を基礎とし、チームとして理由をまとめます。(5分)
- ⑤チームの見解を発表する準備をします。(2分)
- ⑥クラスに対して、チームの見解を1分で発表します。(各1分)



短時間で個別のタスクに取り組んでもらえば、他人事にはなれません。例え1分であっても、全メンバーが自己の意見を発表する機会を得ており、発言しています。全員が参加し、短時間で多様な意見を出し合い、まとめることができます。

こうしたワークのデザイン方法は、発達障がいを抱える学生とどのようにしてグループワークを合理的に進めるか、この課題と共通点が多くあります。

21号

22号

23号

24号

25号

26号

27号

28号

29号

30号

# ベストティーチャーに聴く授業の工夫⑩

## 工夫3 チェックインシートでまず場を作る

グループワークに先立ち、アイスブレイクと称して自己紹介をさせる例が多く見られます。自身は大変な人見知りですので、自己紹介をいきなりやれと言われたら、逆に固まってしまう。

チェックインの目的は、「グループワークに対する気持ちや態度の自己開示」です。自己紹介ではない、と説明することから始めるべきです。そして、個人の準備ステップを与えるべきですから、チェックインシートを用意し、それに書き込みするように指示します(着席したら記入する習慣化を指導します)。

私の授業で用いるチェックインシートには、「所属・氏名」「グループワークに対する本日の気持ち」「教員が用意した雑談ネタ(嫌いな食べ物等)」を書けるようにしてあります。チェックインは自己紹介ではなく、グループワークの場を作るための事前作業ですので、グループワークを行う毎回の授業で丁寧に実施しています。

「グループワークに対する本日の気持ち」で書くべきことは、「今日は眠いです」ではなく、「今日は眠いけど、やる気は満々、頑張れるよ」といったグループワークに必要な参加メンバーの情報です。

## 工夫4 緻密な仕掛けを用意する

グループワークをデザインする際は個人の準備ステップを用意すべきだ、と書きました。この個人の準備を合理化したいなら、前回授業後の宿題にすれば良いこととなります。

宿題を多く与えても、取り組む意義が受講生に伝わらなければ、単に苦痛で終わる可能性があります。

この宿題が次回授業のワークの基礎情報になると理解できていれば、宿題に取り組む意欲を引き出せると同時に、次回授業の楽しみが増します。

同様の発想は、全15回の授業設計でも用いています。まず、最終レポートを確定させます。このゴールに直結するように、毎週の授業を組み立てています。

## 工夫5 受講メンバー同士が親しくなるようにする

私は、人の名前と顔を覚えるのが苦手です。授業で困ることが多かったので、自撮り写真にニックネームないし氏名を記入してもらい、manabaのレポート機能を用いて提出してもらうようにしてみました。「全員が閲覧可」の設定としています。

教員と受講生の距離を縮められるだけでなく、予想外にも受講生同士が楽しくワイワイやっているようです。ただし、写真を公開したくないという受講生がいたら、無理強いはしません。

## 効果的なFD研修の1つのあり方とは

OffJTの研修会に参加すれば、参考となる学びは多いものです。しかし、自身の経験からは、他の先生と授業を共同担当するプロセスで、大量の学びがあったと言えます。授業準備で語り合い、工夫の真

の意味を理解し、さらにはその教育効果を目の当たりにし驚いたことが少なくありません。工夫を表面的に真似るのではなく、OJTスタイルで学ぶことが、とても効果的だと感じます。